

(4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

◆取組実績

●複合的な課題を持つ困難事例への対応

各関係機関が一堂に集まり支援方法を検討

⇒「総合的な支援調整の場（つながる場）」を開催：10回

●虐待防止に向けた啓発や、関係機関・各種支援専門機関との連携を強化

⇒「要保護児童対策地域協議会」：12回

「虐待防止研修会・啓発（児童）」：2回

●「くらしの相談窓口いくの」の運営

- ・しごとや生活に関する各種相談・支援
- ・関係機関の情報共有や支援体制の検討



●こども地域包括ケアシステムの構築 【新規】

- ・子育て支援CSWを区社協に配置

すでに地域で機能している見守りネットワークにおける「こどもの見守り」機能を強化

- ・情報共有サイト「**キントーン (kintone)**」の活用

子育て支援に関わる行政機関・関係団体・NPOなどが個人情報を除く支援や相談に関する情報交換

利用登録者数 112名

まちぐるみでこどもを育てるためにつなごう！
「生野区こども地域包括ケアシステム」



大阪市生野区役所

(4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

●こどもサポートネット事業（こどもの貧困対策関連）

学校と区役所が連携し、こどもと子育て世代が抱える課題に対して総合的支援を効果的に行う。

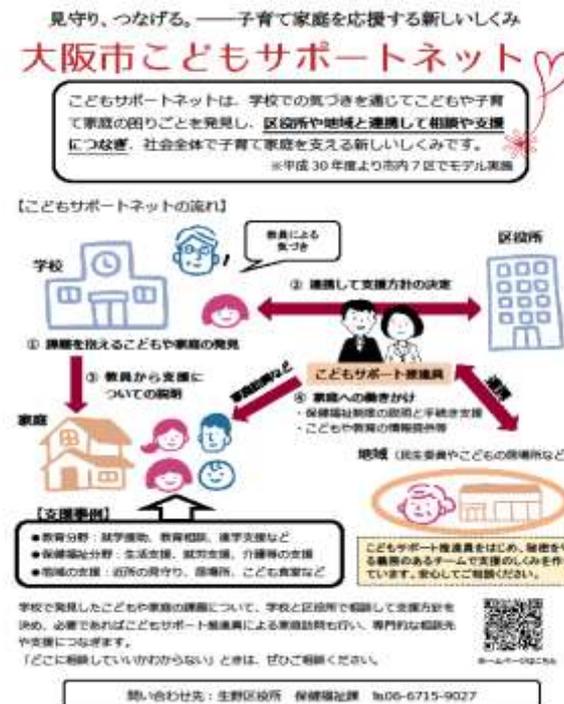
スクリーニング会議（97回）

●子育て相談体制の強化

家庭児童相談員1名増員

●里親制度の普及啓発

さとおやパネル展示(1回)





【令和2年度業績目標】

児童虐待や高齢者虐待などの専門家、支援機関、学校や保育園が参加したワークショップ（連絡会）アンケート結果で、理解が深まったという意見が75%以上

目標：75%以上 ⇒ 実績：91%

目標達成

(4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆取組実績

●生きるチカラを育む課外授業（みらい塾）の開催

民間事業者等による悩み相談と課外授業を通して、基礎学力の向上と自己肯定感の醸成をはかり、「自ら学ぶ力」の定着をめざす。

実施校：

- ・大池中学校（毎週月・木曜日）
- ・東生野中学校（毎週火・金曜日）
- ・田島中学校（毎週火・金曜日）
- ・新生野中学校（毎週火・木曜日）

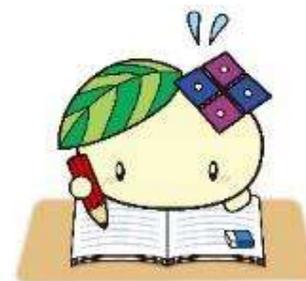
①18:30～19:40

②19:45～20:55

※時間帯の①と②はどちらかを選択

科目：英語・数学・国語

受講者数：計56名



【令和2年度業績目標】

「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」の問いに対し、「30分より少ない」、「全くしない」と回答する生徒の割合

目標：事業参加前後で半減

実績：（前）51.8% ⇒ （後）58.1%

目標未達成

◎要因分析と課題

未達成ではあるものの、出席率が約9割近くある等、生徒の自主学習への意欲や学習習慣の定着につながるものはいくつかあるが、設問の「家庭学習」が自主学習習慣の効果測定につながらなかったと考えられる。

◎今後の方向性

本来の目的である、学力向上に必要な自主学習習慣の定着状況が反映される方法を検討する。

(4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆取組実績

●生きるチカラまなびサポート事業

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣。

- ・登録講師 27名
- ・小中学校への講師派遣 32回
- ・運営アドバイザー会議 1回



【プログラミング授業】



【区内の企業による職業講話】

【令和2年度業績目標】

- ・事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合

目標：6.0%未満 ⇒ 実績：4.4%

目標達成



受講者の意見

〔小学生〕（プログラミング講座にて）前にも塾でプログラミングをやろうとしたのですが、できなかつたので待望のプログラミングでした。

〔中学生〕（職業講話を受講後）将来のことは不安が大きかったけれど、不安がたくさん解消されてよかった。

(5-1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

◆取組実績

人権啓発推進員と連携し、区民に多様な人権課題の理解を深めてもらうための取組

- ・ 地域人権講座：4回
- ・ 広報誌「ふれあい」の発行：1回
- ・ 区民ギャラリーでの平和学習展示
- ・ 区事業での啓発物配布



区民ギャラリー展示



地域人権講座



【令和2年度業績目標】

- ・事業の参加者アンケートでの理解度

目標：90%以上 ⇒ 実績：92.6%

目標達成



地域人権講座受講者の意見

- ・ベトナムから来られている方々がしっかりと目標を持って生活されているのに感心しました。
- ・グループで体験談を聞いたのがよかった。
- ・マイナスの言葉をどう言い換えればプラスになるか考え、今後、なるべく褒める言葉を使っていきたい。

(5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

◆取組実績

- フェイスブックで「やさしい日本語」による情報発信：48件/年
- ツイッターで「やさしい日本語」による情報発信：随時
- 広報紙の9言語自動翻訳版をアプリで電子配信開始（8月号より）
- やさしい日本語による新しいコミュニティづくり事業
「やさしい日本語」から、まちの人たちのつながりの輪を広げる取組み
『やさしい日本語から、つながろう』を継続実施
- 区内中学校等での多文化共生講座（在住外国人と交流会込）実施（5回）

「やさしい日本語」ロゴ



「やさしい日本語協力店」は、「やさしい日本語」で広がる、コミュニケーションの輪に、積極的に関わってくれるお店や病院などです。趣旨に賛同いただいたお店等には、店頭に掲示いただくこのステッカーをお渡ししています。

Lý Hồng Lê
1月22日 15:22

Buổi giao lưu tại trường 大阪市立新箕中学校
Cảm ơn các bạn học sinh tại trường đã giao lưu và cho mình biết thêm rất nhiều thông tin, và văn hoá của Nhật Bản.
Qua buổi giao lưu mình cũng đã đem văn hoá của Việt Nam đến với các bạn học sinh Nhật Bản.
ありがとうございました。
#優しい日本語

学校交流セッションda ban shi li xin xun thong xue xiao
学校の生徒たち、もっと情報交換してくれてありがとう、そして日本の文化交換後、ベトナムの文化も日本の学生に持ってきました。
ありがとうございました。
#優しい日本語

・翻訳を非表示・この翻訳の評価

交流会へ参加した留学生の感想

【令和2年度業績目標】

- ・ 区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると回答した区民の割合

目標：50%以上 ⇒ 58.2%

目標達成



多文化共生講座受講生徒、参加留学生の感想

- ◆初めて外国の人と交流したが、やさしい日本語を使うことによって、意外と通じた。
- ◆外国の方に日本語で伝えるときは工夫しないと難しいことがわかった。
- ◆いろいろな外国籍の人が住んでいて、その人たち一人ひとりの違いを身近に感じる事ができた。
- ◇初めて日本の中学生と交流して、楽しかったです。
- ◇日本のことと中学校のことをいろいろ教えてくださいました。